



コウガの森・共和から

園長 小林 崇

先生たちのこと

先日、大澤先生による体育指導がありました。逆上がりに挑戦していた園児が鉄棒に顎をぶつけても、足が上がりきらずに技に失敗しても、担任の先生に見守られ、励まされ、逆上がりに成功した場面がありました。夢中で挑戦し、繰り返し遊びこんでいた園児の姿に感動し、先生たちの毎日の関わりと熱意に感謝の思いをもちました。

園長として大事にしているものの1つに“職員”があります。コウガの森・共和は共和梅花保育園として出発しました。出発した時は10名程度のちいさな集団でしたが、現在は23名を数えるまでに成長してきました。先生の数が多くなっただけではなく、年を経るごとにそれぞれが成長を果たし、一生懸命保育に向き合う姿や、担任としての役割、先輩としての指導を立派に行なう姿が見られるようになっていきます。子どもたちの成長に励まされ、家庭の方からの注意に身を引き締めながら、自分自身や仲間を成長に導いてくれた職員をかけがえのない宝物と感じています。

さて、今年度は全職員が参加する研修を毎月行なっています。研修では全国の保育園・幼稚園で年間200日間ほど研修を行なっている日本経営教育研究所の溝上先生という先生をお招きし、全員が1時間30分の研修を受講しています。

4月・5月の研修はこんなテーマでした。「自分自身を成長させる一番大切な基本姿勢とは?」「自分を高める事に時間を使っていますか?」「社会人として大切な心得」「職員として必要なこと」「トップと職員 それぞれの立場と果たすべき役割の違い」。

私はコウガの森・共和で“いい保育”をしたいと願っています。園児の確かな成長を支援したいと願っています。それと同時に、“いい先生”を育てたいとも考えています。今年度から始めた研修は保育の知識や技術の向上に直接関係はありませんが、“いい先生”として育てて欲しい、“いい先生”としてコウガの森・共和で長く働いて欲しいと考え始めました。

周りを見渡してみますと、新任も、2年目も、新しく梅花保育園から来た職員も、悩みながらも、一生懸命保育を行なっている姿が見られます。一人ひとりの職員が長くコウガの森・共和で働き、より“いい先生”へと成長していくことを応援していきたいと考えています。

どの先生たちも育ちゆく気持ちと可能性をもっています。ご家庭におかれましても、どうぞ育ちゆく職員に温かい眼差しを向けていただけますようお願いいたします。

コラム

「園で待っています」

一日保育士体験に来てください。

園ではこれから保育参観やおじいちゃんおばあちゃんようこそなど参加型の行事が続きますが、行事の中では“普段の様子”を家庭と共有する機会が中々つくれません。

園では保育士体験を通して、普段の様子を見てもらいたい、お家での様子を聞きたいと思っています。

園で待っています。お父さん・お母さんの参加を待っています。是非、一日保育士体験に来てください。